

花と緑のぐんまづくり通信

問い合わせ 都市施設課 (☎2332)

<https://www.city.fujioka.gunma.jp/hanamidori/>



■イベント会場の様子

4月27日(土)、ふじの咲く丘ではオープニングセレモニーが開催されました。当日は関係者ら200人が参加し、東中学校吹奏楽部による演奏やくす玉割りなどで盛り上がりました。また会場作りを手伝った市民ボランティアや園児の皆さんから、イベントへの思いや感想などが語られ、会場は暖かい拍手に包まれました。



第30回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞



緑化の推進に大きな功績があったとして、田互作(藤岡市)が第30回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

田互作は交通量が多い交差点に面した市有地で平成16年から花壇作りを行っており、ドライバーや市民を楽しませています。また2020年に藤岡市で行われる花と緑のぐんまづくりのイベントに向けて、より一層力を入れています。

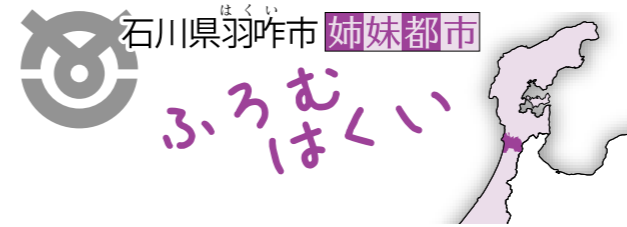
日本のマンホール蓋を楽しく伝えるとともに、下水道への理解・関心を深めるために製作されています。カードは色使い豊かに地域の特長が描かれ、デザインの特長が描かれ、デザインの由来についての解説もあります。

現在、全国407自治体、県内では12自治体が製作・配布しており、全国累計発行枚数は約300万枚となっています。

配布場所や在庫状況は下水道広報プラットホームのホームページを参照するか、各市町村などに問い合わせください。



目より情報
持っていますか？
マンホールカード



羽咋小児童67人が学習

羽咋と万葉集の関係学ぶ

4月18日、千里浜海岸そばの大伴家持の歌碑にて、羽咋小学校6年生が羽咋と万葉集のつながりについて学習しました。

歌碑に刻まれた「之乎路から直越え来れば羽咋の海 朝風したり 船楫もがも」は、万葉集を編纂した大伴家持が748年の能登巡行の道中、羽咋を訪れた際に詠んだ歌です。

説明の中で、新元号「令和」の典拠が万葉集巻五の「梅花の歌32首序文」であることや、万葉仮名の成り立ちについても触れ、児童は所々で驚きの声を上げていました。

藤岡市の皆さんも、羽咋に来られたときに訪れてみてはいかがでしょうか。



↑説明を受ける児童ら(左)と歌碑に刻まれた歌(右)

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.39

問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)

映画「もののけ姫」で有名になった「たたら製鉄」は、日本で古来より発展した製鉄法です。粘土などで作った箱の形をした低い炉に原料の砂鉄と還元のための木炭を入れて、踏鞴という鞴で風を送り鉄を取り出します。低温で加熱するため非常に純度の高い鉄を取り出すことができます。このように鉄を作る技術を持っていた鍛冶集団は、出雲地方をはじめ日本各地に存在しました。

日本の神話には「ヒメタタライズヒメ」という名前の人物が見られます。名の「タタラ」は製鉄とのつながりを指すとされ、神武天皇がこのヒメを正妻に迎えるということは、天皇の勢力が地方豪族が持つ製鉄技術を確保したことを示すともいわれてきました。それほど先進的なたたら製鉄と時の権力とは密接なものだったのでしょう。

地名に見る製鉄の跡

～たたら製鉄と金井～

ここ藤岡においても、たたら製鉄は無縁ではありません。下日野地域には「鉦沢」、「金山」という地名があり、鉦沢地区では奈良時代の製鉄炉が3基調査されています。これらの地は古代の窯業の中心であり、特に製鉄を生業とする技術者集団が来住した所と推定できます。「鉦」から鉦沢の名が残り、金物を鑄る金鑄場から金井の名が生じたものとされています。



子王山展望台から鉦沢・金山・金井を望む